



I-OWA マンスリー・セミナー講演より

どのように介護と向き合ったらよいか

座談会：北井 純子氏、参加者のみなさま、岡本和久
レポーター：赤堀 薫里

岡本 | 資産運用と介護のことは、みんながどうしても必要なことなのにも関わらず、あまり知られていません。今後、ケアマネージャーとファイナンシャル・プランナーが協働してくると、生涯を通じてもっといろいろなサービスができてくるのではないかと感じました。

参加者 | 私はファイナンシャル・プランナーであり、高齢の母がいます。各家庭にも高齢者がいると思いますが、同じ家族でありながら、親の財産を聞けていない人がいっぱいいますよね。そこを何とかFPが間に入って、介護にお金を使ってさらにお金が余るのであれば、お金が足りずに困っている世代に回してあげられるような役割を果たしたいと思います。ご家庭の中で第三者が、その場でどう話を切り出したらいいでしょうかね？



北井 | それは難しいですね。私の場合も父が認知症になってきました。そこで銀行口座の暗証番号も忘れてしまうのではないかと思います、母と弟と私で、『銀行もそろそろ行けなくなるから、ちょっと教えて？』という感じで聞きました。親の資産がどれくらいあるかわからないことが多いですね。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

参加者 | 家族ではない他人である FP が入ってきて、上手く聞き出すという方法はあるのですかね？

北井 | ケアマネですら難しいですからね。成年後見人制度を使って、弁護士に調べてもらうしかないのかもしれない。

参加者 | 弁護士はそれができるんですよね。FP はそんな資格もないですからね。

参加者 | でも、お金のプランを立てて、ちゃんと介護のためにお金が足りるとわかっているならば、介護に関わっているみんなも安心ですよ。

北井 | お金のことですから、ご本人とご家族と両方巻き込んでいかなければ駄目ですよ。ご家族の知らない所でそれを進めていけば『FP さん何なの？』と言われてしまうかも知れませんね。

参加者 | そのご本人の年金で賄えるかどうかということですが、支払いは、家族が代わりにやってあげるのですよね？

北井 | そうですね。私達でも、ご高齢になってご自分で出来ない場合、ご家族様がやっていただけるようであればやっていただきます。ただ、ホームで使うお金はきちんと帳簿をつけて明確にしています。お預かりしているお金は、ご家族様に幾ら頂いて幾ら残りましたとご報告しています。

岡本 | 健康保険や介護保険、銀行口座、どこにどんな口座があり暗証番号を全部リストアップしている人はいないでしょうね。どういう保険に加入しているかとか、とにかく関係ありそうなことを一覧表にすることが良いと思います。ただ、それを書いたノートがどこにあるのか忘れてしまう、というような問題もあると思いますけどね(笑)。富山は 3 世代で一緒に住んでいるケースが多いでしょうから、介護は家庭内で面倒を見ているケースが多いですか？

参加者 | どうでしょうね。富山型とよく言われている小さなデイサービスがいくつかあります。そこは、老人や赤ちゃん、障害を持った方も一緒にいます。富山型デイサービスと言われています。

参加者 | おじいちゃん達は、小さな子がいると頑張ってしまうようですね。登れなかった階段が登れたという話も聞きます。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

参加者 | 先程、先生のお話の中で、『ケアマネを変えることも出来ますよ』というお話がありましたが、地域包括支援センター等に、ケアマネを変えたいと言えればいいのですか？具体的にはどうすればいいのでしょうか？ケアプランを変えるということですかね？

北井氏 | ケアプランを変えるということですよ。

参加者 | 結局は介護していく時に、『ケアプランが合っていないから変えたい』ということですよ。ただ難しいのは、いろいろなサービスやプランを知らないで、『なんとなくこれは合っていない気がする。でも他に良いサービスがあるのかどうかわからないし、これで我慢をするべきなのかどうなのか』と、もし自分が直面したらすごく悩むと思います。変な風に、『これが嫌だ』と言った場合、気を悪くされて面倒見てもらえないのではないかと気にしてしまい、なかなか言えないことも多いでしょう。ケースバイケースだと思いますが、ケアマネさんと波風立てずに出来ることを、何か参考までにお聞かせいただけますか。

北井 | 例えば、デイサービスに行っても気の合う人が居なかったら、曜日を変えてもらうことも可能です。入浴する日も、「家でお風呂に入らないから入浴日を変えて欲しい」だとかね。どうしても駄目だったらデイサービスもたくさんありますから、ケアマネさんに伝えてみれば、合う所を探してくれると思いますよ。後は、ご本人と一緒に、直接見学に行ってもいいと思います。お試しで行ってみるとかね。

参加者 | 具体的なニーズをこちら側から伝えてみるということが、大事かと思います。こういうことしかしてくれないと思うのではなくて、私はこういうことをしてもらいたいんだけど、どこまで実現してくれるのかということですよ。

北井 | デイサービスもいろいろあります。例えば、女性だったら作業が好きなので、作業ができる所、男性は将棋ができる所を選択するとか。また、日帰りのちょっとした旅行に連れて行ってくれる所や、マッサージ師がいる所等、施設によって、全くサービスの内容が違いますね。

参加者 | 同じ経営母体でデイサービスを提供してくれていても、施設によって提供されるサービスの内容が違うので、同じ会社がやっているデイケアセンターが良いか悪いか一概に言えないですよ。

北井 | いろいろ聞いてみるのが良いですよ。そのデイサービスに来ている方達は、いろいろなケアマネさんがプランを作ってきているわけですから、利用者の方に、『そのケアマネさんはどうですか？』と、聞いてみればいいですよ。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

参加者 | デイサービス等には、男性が本当に行きたがらないですよ。知らない人と交わらなければいけないのはプライドが許さない。行くようにするにはどう促せばいいでしょうか？

北井 | そういう時こそ、なんとか行ってもらうようにケアマネさんの存在が発揮される時です。『このデイサービスだったら男性がこれぐらいいますよ。』等、年齢層もわかりますからね。

岡本 | 今、有料老人ホームウェルハイムでは、入居されている人達が楽しめるいろいろな教室がありますよね。どんなものがありますか？

北井 | いろいろありますよ。今、ペットもいます。ペットは衛生面もあるので大変です。ホームでは犬を飼っていますし、お1人暮らしの入居者さんが、猫ちゃんと一緒にいいということで、20歳位の猫ちゃんもいます。うちの社長が陶芸家なので、陶芸もやっています。後は、ちぎり絵やお習字、フラワーアレンジメント。私は朝日新聞の「天声人語を読む」というのを毎週日曜日の朝にやっています。道の駅にお出かけをしたり、お花見、お誕生日会。また入居者さんが主宰の、仲間を集めてクロスワードパズルをやるような独自のものもあります。ホームの中に何カ所か、提案箱があるので、月に一度くらい集まってもらい、公表もしています。

参加者 | 入居する前に、家を片付けてくるのか、施設に持ってくるのか、どういうケースが多いですか？

北井 | 金銭的に余裕がある方は置いてくる方が多いですね。お子さんが、実家に帰りたいという思いもあるじゃないですか。無くなってしまうのも淋しいでしょうし。でも『実家はいらないよ』ということであれば処分される方もいるのでいろいろです。ご相談は受けますが、ご本人の意思もありますよね。

岡本 | 急に高齢になったから『さあ、介護』ということではなく、元気な時からの準備が必要になります。若い時から資産運用をしていかなければいけないのと同じことであり、準備期間が長く必要です。そして、それが出来ていると、スムーズに幸せな老後生活を過ごしやすいでしょうね。今日はどうもありがとうございました。